



令和9年度（2027）



市立札幌開成中等教育学校
Sapporo Kaisei Secondary School

教育理念

学校教育目標

わたし、アナタ、mi そのすが



生徒のすがた

自ら課題を発見し、生涯にわたって
学び続ける力を大切にします。

自己を肯定し、多様な価値観を
認め合う心の余裕を大切にします。

未知なるものに挑戦し、自ら
道を切り拓く勇気を大切にします。



大人のすがた

6年間を通した学びの連続性を生かして、
課題探究的な学習に向き合う環境を整えます。

幅広い異年齢集団による学び合いを生かして、
様々な文化と出会い交流できる環境を整えます。

6年間にわたる見守りを生かして、徐々に範囲を
広げながら安心して挑戦できる環境を整えます。

校長からのメッセージ

ようこそ、市立札幌 開成中等教育学校の世界へ！

市立札幌開成中等教育学校

校長 西村 里史

今、あなたは、このパンフレットをどのような気持ちで手にしていますか？このパンフレットには本校の特色ある教育の具体的な内容がたくさん盛り込まれています。気になるところから自由にご覧いただき、本校のすがたを感じていただけたらとてもうれしいです。

本校は、平成27年(2015年)4月に札幌市内初の公立中等教育学校として開校し、今年は12年目の年となります。9期生までの生徒1400名ほどが本校を卒業し、国内外様々な国や地域でそれぞれの生活を送っています。

さて、開校当時も今の時代も、日々未知なる社会課題が起き、膨大な情報が飛び交い、常に状況が変化し続けている世の中となっています。だからこそ、今日、「生涯にわたって学び続け

る力」を身に付けることが学校教育に求められています。そのためには「課題探究的な学習」を繰り返し行っていくことが必要です。「課題探究的な学習」とは、「自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する学習」であり、全ての札幌市立学校が大切な学びとしています。これを本校がモデル校として推進するために、札幌市教育委員会は、国際標準のプログラムである「国際バカロレア (IB)」を導入することを決めたのでした。そして、平成29年(2017年)3月には「ミドル・イヤーズ・プログラム (MYP)」、平成30年(2018年)9月には「ディプロマ・プログラム (DP)」の認定を受けました。また、5・6年生では単位制の利点を活かした、IBの手法に基づく探究が豊富に用意された本校独自の「インクワイヤリ・プログラム (IP)」を設置しました。

日本の公立学校では最初のMYP認定校ということで海外からも注目されておりますが、実際に、開校以来継続している様々な教育実践がIBの理念に則した確かなものだとIB機構からも評価をされていることが私たちの誇りでもあります。そして、本校の教職員は常に学習者の一人として日々教育活動に取り組んでいることで、より豊かなIB教育を生徒たちに提供できているのだと思います。そして何より、本校の卒業生たちがこの課題探究的な学習が有効であるということを経験して様々な分野で活躍し、証明してくれていることがとてもうれしく思います。

n - n a たがうれしい

学校教育目標制定の趣旨 >>

本校は、育てたい生徒像に、「6年間の連続した学びを生かして、札幌で学んだというアイデンティティを持ちながら、将来の札幌や日本を支え国際社会で活躍する、知・徳・体のバランスのとれた自立した札幌人」を掲げ開校しました。

この育てたい生徒像を踏まえ、本校における全ての教育活動が、これまで慣れ親しんだ考え方や違うものと出会った時の驚きや戸惑いに正面から向き合い(わたし、アナタ、min-na)、調整や折り合いをつけていきながら、自分と違う存在の意味を理解し受け入れていく方向(そのすがたがうれしい)を目指していることを示しました。

また、本校における全ての教育活動を通して身に付けていくことが期待される力や心―「課題発見・解決力、思考力・判断力・表現力」、「豊かな人間性、国際的な広い視野、札幌に愛着を持つ心、地域に貢献する気持ち」、「自らの将来を切り拓く力、魅力ある個性」―を育むことを目指し、日々の学校生活の中で生徒が意識することを【生徒のすがた】、そのために教職員を始めとした周囲の大人が果たすべき役割を【大人のすがた】として示しました。

また、IB校であると同時に、後期課程である4～6年次生は全員が理科・数学・英語に特化した専門学科である「コズモサイエンス科」の所属として学習に取り組んでいます。そして、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を文部科学省から受けており、現在、第3期の実践に取り組むと同時に、第4期に向けて準備を進めております。

本校のSSHでは中学校段階を含む6年間を系統立てたサイエンスに特化した教育課程を編成し、科学的要素を身に付けるための課題研究や校外研修の機会を数多く設定しています。本校ならではの魅力溢れるSSHのプログラムがたくさんあります。

さらに、物事を「自分ごと化」する経験や、本物の体験を通して主体性を育むことを目指すSELFという本校の教育理念も特徴の一つです。これを実現するために6年間を2年ごとの学びの区分を設けて、SELFの3 SHIFTとし、基礎期、充実期、発展期としています。基礎期では学びの基礎を身に付けながら自分を知り、自分を表現する「自立できる」を、充実期では自分ごと化の範囲を広げて自分と異なるものに触れ成長する「自律できる」を、発展期はより良い自分や社会の未来に向けて動く「社会のために働く」を目指すすがたとしています。

それから、校舎にも特徴があります。教科教室型という作りになっていて、教科ごとでゾーンに分かれています。すべての学年の生徒が授業ごとにそれぞれの教室に移動して学習するので、隣で授業を受けているのは違う学年の生徒であることは普通のことです。このような環境にあるので、下級生たちは今取り組んでいる課題探究的な学習が今後どのように発展していくのかを先輩の学ぶすがたを通して、将来の自分を想像しながら目標に向かって学びを進めることができます。

ここまで読んできて、本校の特徴や魅力を感じていただけたでしょうか？本校で過ごす6年間には「あれ？どうして？」と自ら疑問をもち探究する場面がたくさんあります。この探究で大切なのは、自分で考え、判断して、行動することです。そして、友達や関わる様々な人達と一緒に協働的に取り組むことです。このような学校生活にワクワクする人は、ぜひ、一緒に探究をしていきましょう！本校への入学について家族の皆さんと話し合ったり、相談したりするのは当然ですが、受検をするかどうかを決めるのは他の誰でもない「あなた」自身です！本校で広がる探究の世界への扉を自ら開くあなたをお待ちしています。

INDEX

教育理念／校長からのメッセージ	01
Think globally, act locally. わたし、アナタが「学びの主人公」。	03・04
6年間を通した学びの連続性／	
SELF・教育課程	05・06
課題探究的な学習とは？	07・08
SSH／進路探究学習	09
国際バカロレア (IB)	10
スクールマップ／放課後活動／	
学校はどんな一日？	11・12
学校行事／日常生活のQ&A	13
入学者選考について	14
校章(由来・デザイン)／校名「開成」の由来／	
校訓／校歌／アクセス	裏表紙

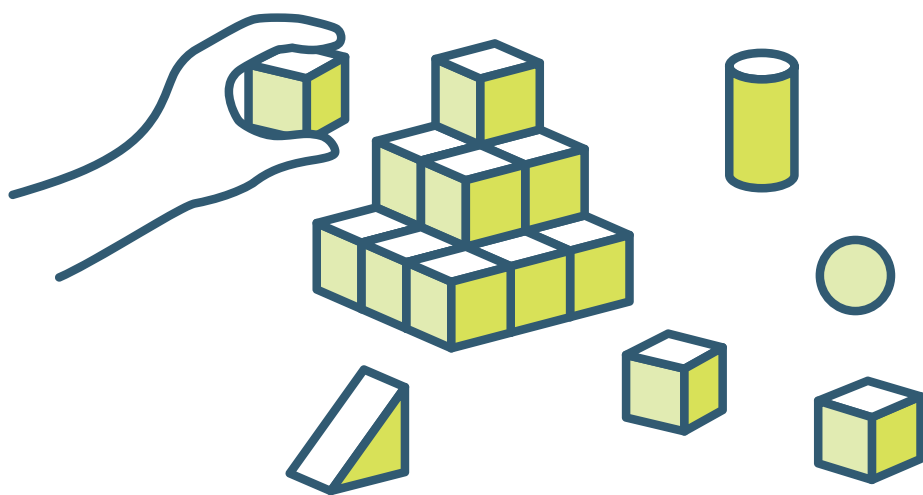


Think global

わたし、アナタが「学び

開成は

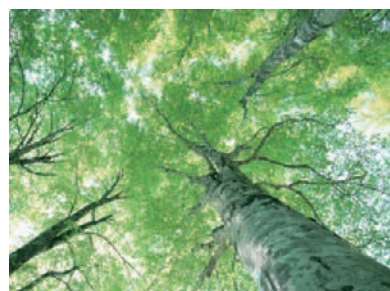
自分で学ぶ力を
身につける。



6年間を通した
学びの連続性

→ P05

市立札幌開成中等教育学校で過ごす日々は充実の6年間です。基礎期(1・2年)は学びの基礎を知り、学びの楽しさを感じます。充実期(3・4年)は学びの広がりを感じ、探究する経験を積みます。発展期(5・6年)は学びを深化させ、成長を自覚します。みなさんの積み上げた6年間を通して新しい自分と出会いませんか。



自分自身をコーディネートしよう。

何に挑戦し、どう取り組むかは、自分で決めます。
それが「自分自身をコーディネートする」ということです。

自分で選ぶその日の自分

ふだんは、自分で選んだ服装で授業を受けます。儀式などでは、紺のブレザー、エンブレム、白いワイシャツ、ネクタイを着用します。

y, act locally.

の主人公」

グローバルな視野をもって、
身近なことから行動しよう。

「？」と思うことを考える

課題探究的 な学習

→ P07

世界を視野に入れた

進路探究 学習

→ P09

世界が認める教育

IB

国際バカロレア

→ P10

授業で知ったこと、学んだこと、不思議だ
と思うことをみなさんは、いつもどうして
いますか。この課題探究的な学習では、
「学びの主人公」はあなたです。自分が興
味を持った内容に対して、じっくり向き
合ったり、ときには友だちと話し合ったり
します。みなさん、そんな学習をしてみま
せんか。



自分の将来を自分の力でデザインできる
ようになるための学習を「進路探究学習」
といいます。主な学習プログラムとして
「札幌を教材とした学び」、「フィールド
ワーク」、「SSH」などがあります。これらの
活動を通して、みなさんはどんな大人に成
長していくのでしょうか。



みなさんが住んでいる社会は常に変化し、
新しい何かが生まれています。そして時代
の変化とともに、私たちの社会は世界をと
ても身近に感じられるようになりました。
IBは国際的な感覚と視野を身に付ける学
習プログラム。これらの学習を通してみな
さんは何を探究し、どんなスキルを身に付
けて、未来に向かっていくのでしょうか。



自分で考える放課後の自分

放課後は、自分が興味のあることに挑戦する時間です。
部活動、放課後ユニット、生徒会活動など、どれをや
るか、何をやるのかは自分で考えることになります。

放課後、たくさんの先輩方に出会おうと思います。
そんな幅広い異年齢の集団の交流を通して、
自分たちの未来のすがたを感じてください。

6年間を通した 学びの連続性

本校では、6年間を「基礎期」(1・2年生)、「充実期」(3・4年生)、「発展期」(5・6年生)の3段階に分けています。それぞれの期では目標とする「わたしのすがた」を大切に、「SELF」の教育理念により、成長していきます。

Stimulating Experience and Learning for the Future

SELF

SELFとは
物事を「自分ごと化」する経験から子どもたちの
主体性を育むことを目指す開成オリジナルの教育
理念です。

3SHIFT

SELFの準備

基礎期 1・2年

自立できる

- ・ 周囲のことを考える
- ・ 自分で歩みを進める

SELFのスタート

充実期 3・4年

自律できる

- ・ 自分の軸を持つ
- ・ 相手の軸を認める

SELFの成熟

発展期 5・6年

社会のために動く

- ・ 個で自分のために動く
- ・ 個で相手のために動く

基礎期から充実期までは、4クラスが6チームの
少人数に分かれて授業や教育活動に取り組みます。



国際バカロレア (IB) の教育プログラムに対応した教育課程 令和8年度 (2026)

基礎期

充実期

発展期

1 学年

2 学年

3 学年

4 年次

5 年次

6 年次

5 年次

6 年次

理数英の専門学科 (コズモサイエンス科)

単位制 (自分の学びをデザインする)

MYP

日本語 DP ※4

IP (本校独自の探究プログラム)

1	国語 (言語と文学)	国語 (言語と文学)	国語 (言語と文学)	現代の国語 (言語と文学)	体育	体育
2					保健	保健
3				言語文化 (言語と文学)		
4					GP 2 英語 B HL	総合英語 II・III
5	社会 (個人と社会)	社会 (個人と社会)	社会 (個人と社会)	地理総合 (個人と社会)		
6					【6年後期自由選択】 国語／地歴／公民／ 数学／理科／英語 探究 (1) 3科目まで選択可	
7				公共 (個人と社会)		
8						総合コミュニケーションA/ 理数数学 II 発展
9	数学 (数学)	数学 (数学)	数学 (数学)		GP 5 数学 HL	
10				理数数学 I (数学)		【6年選択必修修数学】 理数数学特論 (6)／ 理数数学発展 (4)
11						
12	理科 (科学)	理科 (科学)	理科 (科学)	理数物理 (科学)		
13				理数化学 (科学)		
14				理数生物 (科学)		
15	音楽 (芸術) 45 時間	音楽 (芸術)	音楽 (芸術)	理数地学 (科学)		【6年選択必修修／自由選択理科】 理数物理発展 A (2)／B (4) 理数化学発展 A (2)／B (4) 理数生物発展 A (2)／B (4) 理数地学発展 A (2)／B (4) 選択必修修は 1 科目以上選択
16	美術 (芸術) 45 時間	美術 (芸術)	美術 (芸術)	音楽／美術／書道 I (芸術)	GP 3 歴史 SL	文学基礎
17						
18	保健体育 (保健体育)	保健体育 (保健体育)	保健体育 (保健体育)	体育 (保健体育)	GP 1 文学 A SL ※5 ／ GP 4 理科 SL	【6年後期自由選択】 国語／地歴／公民／ 数学／理科／英語 探究 (1) 3科目まで選択可
19						
20	技術・家庭 (デザイン) 40 時間	技術・家庭 (デザイン)	技術・家庭 (デザイン)	保健 (保健体育)	GP 4 理科 SL は 物理／化学／生物 から 1 科目選択	【5・6 年自由選択】 倫理 (2) 政治経済 (2)
21				家庭基礎 (デザイン)	理数物理／化学／ 生物／地学 (後期)	【5・6 年自由選択】 文学 A (4) 文学 B (2) 総合コミュニケーション B (2)
22	英語 (言語習得)	英語 (言語習得)	英語 (言語習得)	情報 I (デザイン)	GP 4 理科 HL ※5 ／ GP 1 文学 A HL	【5 年選択必修修理科】 理数物理 (2)／ 理数化学 (2)／ 理数生物 (2)／ 理数地学 (2) から 3 科目
23						
24	情報スキル ※2 (デザイン)	理数探究スキル ※2	コミュニケーション デザインスキル ※2		GP 4 理科 HL は 物理／化学／生物 から 1 科目選択	
25	道徳	道徳	道徳			
26	道徳	道徳	道徳			
27	道徳	道徳	道徳			
28	道徳	道徳	道徳			
29	道徳	道徳	道徳			
30	道徳	道徳	道徳			
31	道徳	道徳	道徳			
32	道徳	道徳	道徳			
33	道徳	道徳	道徳			

※1 MYPの()内はIBの教科名です。
※2 本校独自の設定教科です。1年の情報スキルは「技術・家庭」の技術分野情報領域と「社会と情報」1単位分を扱います。
※3 コズモプロジェクト＝「総合的な学習の時間」(4年次は「総合的な探究の時間」)。充実期は3・4年合同。なお、4年次のコズモプロジェクトⅡ2単位分は、学校設定教科「SSH」の科目として実施します。
※4 日本語DP選択者は、資格試験に必要な科目GP1からGP6とEE、TOK、CASを6年前期まで履修します。また、英語Bと同一1科目以上を英語で受けることとなります。英語で受けられる科目は、数学、物理、コンピュータサイエンスです。そのうち、数学と物理は日本語で受けることもできます。
※5 GP1文学AをHLで取る場合、GP4理科ではSLを1科目選択します。また、理科のHLを取る場合、文学AはSLとなります。「文学A SL」と「文学A HL」の二つを取ることはできません。
※6 GP4で「コンピュータサイエンス」を選択する場合は、6年後期で理数物理／化学／生物／からGP4で学習しない2科目を選択します。
※7 DP CASとIP CASは週時程に位置付けません。DP CASは5年次から6年次の18ヶ月継続して、IP CASは5年次に12ヶ月継続して実施します。
※8 IP「TOK (知の理論)」は3単位分を5年次、1単位分は6年前期に1セッションで実施します。IP生が「TOK (知の理論)」を選択した場合、DP資格試験を受けてCertificate (受講証明書) を取得することができます。
略語：GP＝グループ、HL＝ハイヤーレベル、SL＝スタンダードレベル

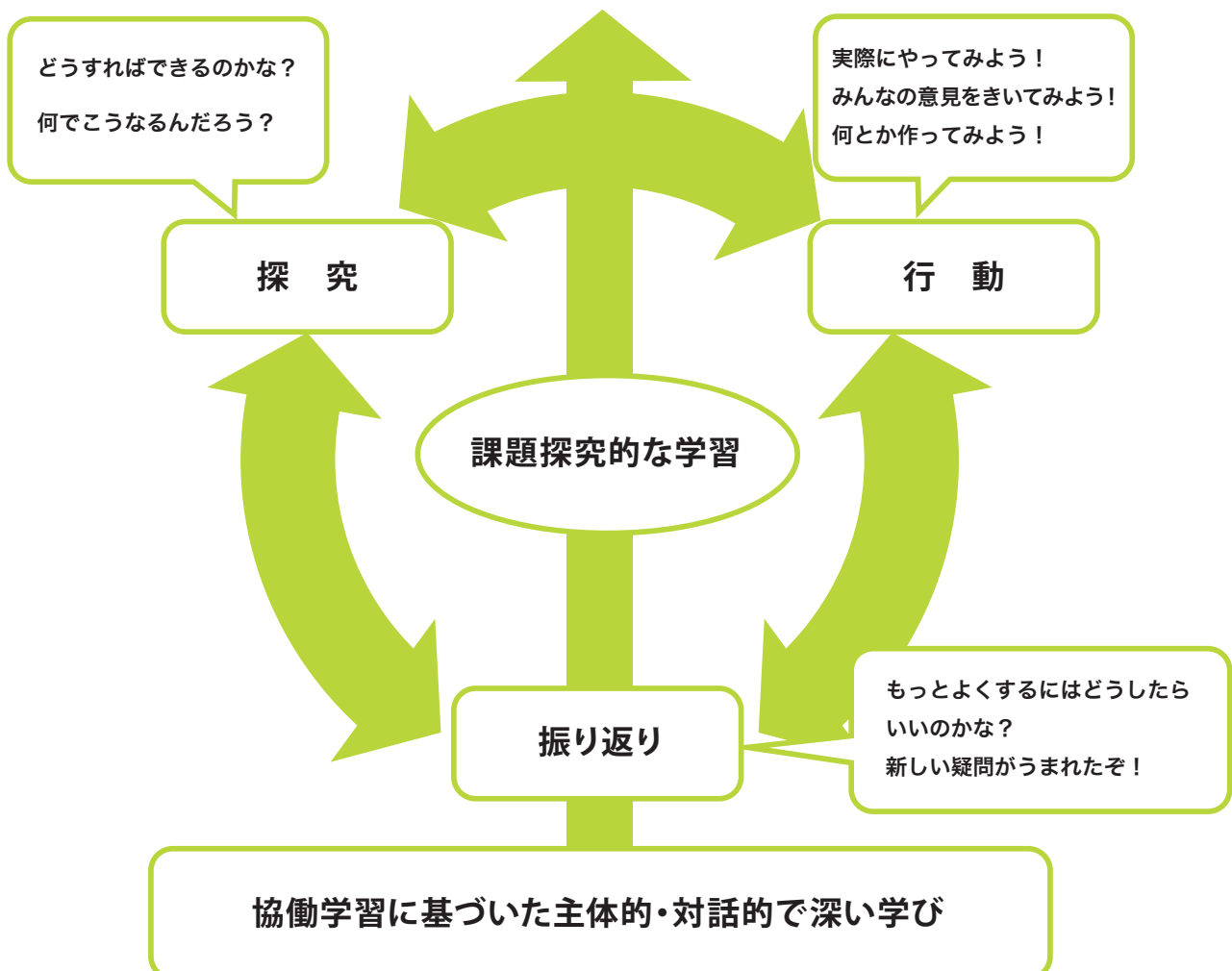
Create your own study style!

課題探究的な学習とは？

本校における課題探究的な学習とは、協働学習を基盤とした「主体的・対話的で深い学び」を中心に置いています。この学習では、グループでの話し合いを通して原理・法則を発見したり、知識を関連付けたり、練り上げたりすることで新たなアイデアに到達することができます。また、授業中に知識や技能を得るだけでなく、発表や議論を通して、それらを活用することにも重点を置いています。「探究—行動—振り返り」が双方向に展開するIBの学習サイクルを授業の一連の流れとして、6年間で学習の方法を身に付けていくことが、自立した学習者となるためには大切なこととされています。

自立した学習者とは？

- ・自ら課題を発見し、生涯にわたって学び続ける力がある！
- ・自己を肯定し、多様な価値観を認め合う姿勢がある！
- ・未知なるものに挑戦し、自ら道を切り拓く勇気がある！
- ・資質・能力および学習の方法を身につけている！



社会とのつながりを感じながら

自立した学習者になる



Middle Years
Programme

基礎期
充実期

ミドル・イヤーズ・プログラム

3SHIFT

基礎期・充実期である1～4年生では、国際バカロレアのMYPで学びます。MYPは本校が考える課題探究的な学習に合致しており、生徒が生涯にわたって自立した学習者になるための要素が盛り込まれています。



8つの科目群
言語と文学 Language & Literature
言語習得 Language Acquisition
個人と社会 Individuals & Societies
理科 Sciences
数学 Mathematics
芸術 Arts
デザイン Design
保健体育 Physical & Health Education

パーソナルプロジェクト／Personal Project

4年間の集大成となる課題研究のことで、テーマを自分の興味・関心に基づいて設定できます。この課題研究を通して、生徒は研究の一連の過程の基礎やそれを成功に導くために必要な要素、スキルを身に付けることができます。プロジェクトの内容は、発表会を通じて、他の生徒や保護者に共有されます。



奉仕と行動／Service as Action

IBの学びにおいては、学んだ内容を地域や社会で実際に活かすことを重視しています。実際に知識を活用していくことが、学んだことの重要性を再認識するきっかけとなり、次の学びへの原動力となります。奉仕を通じて、多くの人と交流を深めていくことも、大きな経験となります。

発展期 DP(ディプロマ・プログラム)とIP(インクワイアリー・プログラム)のいずれかを選択



ディプロマ・プログラム

DPは5～6年次生を対象とした国際バカロレアのプログラムで、所定のカリキュラムを履修し、最終試験で合格をすることで、国際的に認められる**大学入学資格(国際バカロレア資格)**が取得できます。国内や海外大学には最終試験の成績を利用して入学することができます。

Inquiry Programme

インクワイアリー・プログラム

IPは5～6年次生を対象とした本校独自の探究プログラム(Inquiry Programme)で、自らのキャリアデザインに基づき、多様な科目(学習指導要領上の科目、学校で設定した科目)の中から主体的に選択し、課題探究的な学習を行います。(選択する科目については6ページ参照)

Globalism

グローバルって、もう普通

国際的な感覚と視野を持って、社会に貢献できる人を目指す

SSH

Super Science High School

本校は「科学的・論理的思考力を持った世界ではばたく人間を育てる」という理念に基づいた、理数英の専門学科“コスモサイエンス科”であり、令和4年度より5年間のスーパーサイエンスハイスクールの指定（3期目）を受けました。SSH校として課題研究や校外研修など、さまざまな取組を行います。

SSH
Super Science High school

スーパーサイエンスハイスクールとは

高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。（国立研究開発法人科学技術振興機構HPより）

■ 6年一貫の探究活動を核とした教育を展開し、サイエンスリーダーの資質を身に付けた学習者を育みます。

■ 1,2年の取組

試行錯誤



興味関心をテーマにした探究活動

■ 3,4年の取組

ブレコスモサイエンス



異学年合同による課題研究活動

■ 5,6年の取組

コスモサイエンス／コスモエッセイ



専門的な研究活動と英語論文作成

■ 校外研修

生物野外観察



美唄市宮島沼野鳥観察

■ 環境学習や国際理解学習を重視した学際的な教育を展開し、グローバルな視野をもった学習者を育みます。

■ 道外研修

屋久島プロジェクト



縄文杉トレッキング

つくばプロジェクト



筑波実験植物園研修

■ 海外研修

ベトナムプロジェクト



JICA・大学・姉妹校等訪問研修

タイ・日本高校生フェア



タイ姉妹校との発表交流会

■ 他校と連携することで、科学的意欲に富んだ学習者を育むとともに、地域の活性化につながる活動を行います。

■ 研究発表会

SSH・コスプロ研究成果報告会



全校での発表会

チ・カ・ホ Lab.



大通地下歩行空間でのプレゼンテーション

■ 他校との連携

コスモキッズセミナー



近隣小学校への発表交流

環境科学現地研修



市立高校と合同の道内研修

進路探究学習
(キャリア教育)

i-Project (アイ・プロジェクト)

変化が激しく、多様かつ複雑な社会の中で、自分らしく生きていくために必要な対話力、(批判的)思考力、判断力、協働力、職業観、勤労観などを養います。

キャリア教育において育む社会的・職業的に自立するための基礎的・汎用的能力

● 人間関係形成
社会形成能力

● 自己理解
自己管理能力

● 課題対応能力

● キャリアプランニング能力

IB



市立札幌開成中等教育学校と国際バカロレア (IB)

国際バカロレア (IB) は、多文化に対する理解と尊敬を通じて、平和でより良い世界に貢献できる若者を育成する目的で国際バカロレア機構が編成した国際標準の教育プログラムです。そして、この理念は本校が目指している生徒の「すがた」に共通しています。IBのプログラムを活用して全教科全学年で課題探究的な学習に6年間取り組み、グローバル人としての大きな成長を期待しています。1学年から4年次では学習の方法 (ATL= Approaches to learning) や16の概念を重視した中等

教育プログラム ミドル・イヤーズ・プログラム (MYP) を行います。協働学習を通して、各教科の知識理解はもとより、発展的で創造的な学習が展開します。なお、5・6年次からは日本語によるディプロマ・プログラム (DP) コース、または、本校独自の探究プログラム インクワイアリー・プログラム (IP) のコースのどちらかを選択することになります。DPは国際バカロレア機構が定めたカリキュラムに従って学習をし、IPコースでは学習指導要領の内容を取り入れて課題探究的な学習を行います。

2017年3月付けで、日本の公立学校において、初の MYP認定校となりました。
また、2018 年 9 月付けで、DP 校に認定されました。

考える人

Thinkers

探究する人

Inquirers

知識ある人

Knowledgeable

思いやりある人

Caring

バランスのとれた人

Balanced

コミュニケーションできる人

Communicators

心開く人

Open-Minded

信念ある人

Principled

挑戦する人

Risk-Takers

振り返りができる人

Reflective

IBの学習者像

IB Learner Profile

本校の生徒と大人は常にIBの学習者像を大切に生活していくことになります

基礎期

- SA (奉仕活動)
- 自分プレゼン (生徒主体の三者面談)
- いのちを考える学習
- こころとからだの時間
- 企業訪問 ●宿泊学習
- FJS (社会にある仕事・職業理解を深め、仕事と社会、仕事と仕事のつながりを探究し、「働く」とは何かを考える。)

充実期

- SA (奉仕活動)
- 自分プレゼン (生徒主体の三者面談)
- いのちを考える学習
- こころとからだの時間
- 職場体験 ●海外見学旅行
- FJS (仕事を通じた社会への貢献を考え社会問題とその課題について探究し、理想的な未来の姿を示す。)

発展期

- CAS (創造的活動・身体的活動・奉仕活動)
- 自分プレゼン (生徒主体の三者面談)
- いのちを考える学習
- こころとからだの時間
- キャリアコミュニティ (異学年合同進路探究)
- FJS (自分が自分らしく生きていくためにも必要な思考と行動を探究し、より良い社会と自分の姿を明確にする。)

学びと出合いの楽 SCHOOL MAP ほら、校

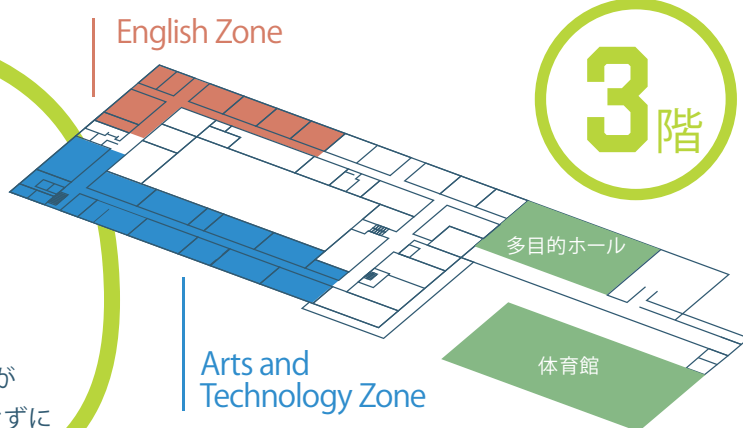
だれでも気軽に相談できる環境

コミュニケーションホール

職員室前にはコミュニケーションホールという開放的なスペースがあり、先生方といろいろなお話ができます。放課後の教育相談の時間もあります。

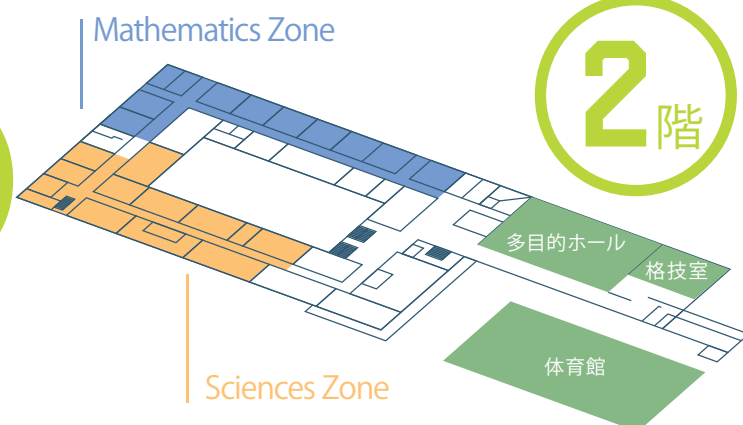
カウンセリングルーム

悩み事がある時は、カウンセラーの先生に相談することができます。カウンセリングルームは周りの人の目を気にせずに話をすることができます。



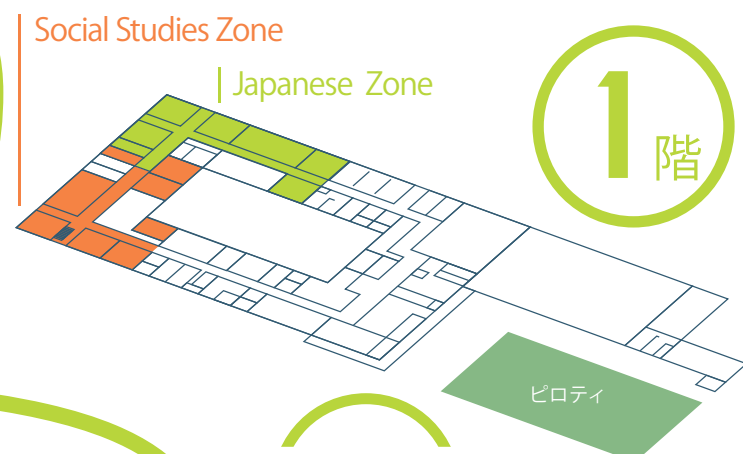
みんな友達

各階にラウンジがあります。友達と学習したり、放課後活動の話をしたりなど、楽しい思い出ができる交流の場所となります。



教科ゾーン

各教科の教室は教科ゾーンとして配置されていて、日本語と英語で表記されています。生徒は授業に応じて教室を移動します。授業で作成したポスターや成果物などがあり、探究学習の面白さを実感できます。中庭を囲むようにデザインされた校舎を散策して、自分の好きな場所を見つけてみませんか。



学びの広がり

メディアセンター・コンピュータ室・CALL教室

メディアセンターにはたくさんの本があり、授業をすることもあります。また、コンピュータ室やCALL教室では情報処理の方法や英語によるプレゼンテーションのスキルなどを身に付ける授業が行われます。

しさが、 舎の中にいっぱい!

学校はどんな一日?

1日に「4セッション」の授業。

一人ひとりに、玄関ロッカーと
ラウンジロッカーがあるよ!

1日の流れ(例)

内 容	時 間
登 校	7:30~8:25
出欠確認	8:25~8:30
移動・朝読書	8:30~8:40
セッション1	8:40~10:20
セッション2	10:30~12:10
コズモタイム (給食・ランチタイム含む)	12:10~13:10
セッション3	13:10~14:50
セッション4	15:00~16:40
下校完了	1~3年生 18:00 4~6年生 18:30

コズモタイムは
友だちとの交流、学級活動、委員会、
学習など、自分をコーディネート
できる時間なんだ。

1年生から3年生は
給食で、
4年生からは
お弁当だよ。

掃除の後は
放課後活動!

100分授業

50分×2でひとつの
セッションと呼んで
100分間の授業を行います。

※曜日や学年により授業の有無は異なります。

放課後には先輩たちと一緒に
こんな活動が
できます!

放課後ユニット

毎年、変わる可能性があります。

- アイデア発想班 ●数楽班
- 科学実験班 ●笑集力
- 天文班 ●将棋文化研究班
- クイズ研究会 など

生徒会・外局

- 生徒会執行部 ●放送局 ●新聞局 ●図書局
- ボランティア局(ボランティア班)(国際交流班)

部活動

各種大会等に以下の部活動が学校として参加します。

- 管弦楽部
- 美術部 ●演劇部
- 書道部 ●茶道部
- 軟式野球部(後期課程は硬式野球部)
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子バドミントン部
- 女子バドミントン部
- 陸上部
- サッカー部
- 男子硬式テニス部
- 女子硬式テニス部

※本校で開設していない部活動の種目について
学校の承認及び顧問引率が必要な大会の参加は
認めていません。

※本校では新たな部を開設することはありません。
※在学中に部活動が休部または廃部になることが
あります。

※本校は生徒が他校の運動部活動に参加する運動
部活動「学校間連携方式」を採用しておりません。

学校行事

入学式から修了式まで、1年間にさまざまな行事があります。



旅行的行事(予定)

2年生 道内宿泊研修 1泊2日

ねらい

私たちの住む北海道に視点を置き、体験活動を通して特色ある町づくりについて現地で学習します。基礎期2年間の学習の集大成としての宿泊研修です。

実施時期 10月

4年生 海外見学旅行 5泊6日

ねらい

現地の生徒たちとの授業交流などを通して地球規模で活躍するのに必要なスキルを身に付けます。英語を実際に使ってたくさん交流する機会となります。

実施時期 3月



開成中等で過ごす日々

日常生活の Q&A

Q

自転車通学は可能ですか。



A

基礎期でしっかり交通安全のマナーを学んだあと、充実期の3年生から自転車通学を許可しています。

Q

チームとクラスの違いは何ですか。

A

通常の授業は26・7名のチームで実施し、生徒一人一人をきめ細かく見守り、サポートしています。また、給食などは40人のクラスで行っているため、より多くの友達と交流することができます。

Q

入学後の保護者負担はどのようになりますか。

A

6年間の諸費用等については、札幌市内の公立中学校と公立高等学校とほぼ同程度の負担となります。

Q

毎日4セッション授業があるのですか。

A

毎日ではありません。学年・曜日によって異なり、給食後に下校の日もあります。また、1～3年生は、毎日放課後に教育相談の時間を設けています。

Q

学校の部活動にない種目で、中体連や高体連等の大会に出場できますか。

A

出場できません。本校で開設していない部活動については学校の承認及び顧問引率が必要な大会の参加は認めていません。

Q

現在学校にない部活動を今後新たに開設することはありますか。

A

本校では新たな部を開設することはありません。

Q

運動部活動「学校間連携方式」を活用して他校の部活動に参加することはできますか。

A

本校は「学校間連携方式」の対象外のため参加することはできません。

学校説明会の予定

令和8年

9月5日(土)

生徒募集要項の配布、
校内見学

会場 本校校舎

対象 現小学6年生および保護者1名



詳細は学校ホームページにてお知らせします。

入学者選考について

志願者に 求める適性

- 自ら学ぶことへの興味・関心が高いこと
- 課題を解決するために必要な学齢相当の思考力・判断力・表現力等を身に付けていること

募集人員

160名

出願資格

以下の両方の要件を満たすことが必要

- 小学校又はこれに準ずる学校を令和9年3月に卒業見込みの者（または事前に中等教育学校長が承認した者）
- 出願時において保護者（親権者又は未成年後見人）とともに通学区域内に住所を有し、入学後も引き続き通学区域内から通学することが確実な者

通学区域

札幌市内全域

出願受付期間

令和8年11月9日（月）～11月13日（金）

※郵送のみの受付、11月13日（金）の消印まで有効

出願の流れ

- ▶生徒募集要項の受取（令和8年9月5日（土）より配布）
- ▶出願資格を確認（資格の有無が不明の場合は、早めに問い合わせてください。）
- ▶在籍する小学校へ出願に必要な「児童の状況調書」の作成を依頼（書類作成には時間を要しますので、早めに依頼してください。）
- ▶出願書類（入学願書、出願理由等説明書、返信用封筒宛名等）に必要事項を記入
- ▶出願書類を郵送（書類に不備がないかを確認、出願受付期間厳守）

選考の流れ

- ▶一次検査（適性検査） 令和9年1月12日（火）
 - 適性検査Ⅰ（45分） 思考力・判断力・粘り強さ等をみる。
 - 適性検査Ⅱ（45分） 表現力・課題発見・解決力等をみる。
- ※「適性検査」の結果、「出願理由等説明書」、及び「児童の状況調査」の内容により、募集人員の2倍（320人）以内までを一次検査通過者として選考。

- ▶二次検査（グループ活動） 令和9年1月23日（土）
 - グループ活動
授業形式によるグループ活動を通して、集団でのコミュニケーション能力や課題探究的な学習への対応力等をみる。

- ▶入学予定者発表 令和9年1月29日（金）
学校ホームページに掲載

このページに記載されている内容は
現在のところの予定です。
入学者選考の詳細については
9月5日（土）より配布される
「募集要項」をご覧ください。

校章の由来

- 日本人としてのアイデンティティを大切にしてほしいという思いから、「ひらがな」で「かいせい」、「せかい」を図案化しています。
- 「日本人としてのアイデンティティを持ちながら、世界に羽ばたく開成の生徒」という思いが込められています。

デザイン／北海道札幌開成高等学校第6期卒業生・日本画家 佐々木 裕而 氏

校章



校名「開成」の由来

- 儒教の経典「四書五経」の中の「易経」の一節である「開物成務（かいぶつせいむ）」に由来しています。
- 「道を切り開く努力を惜まず（開物）、自らの任務を果たすまでひたすら努め励む（成務）」の意味です。
- 「自らの才能を開き展ばし、新しい社会を築く人を育成しよう」という願いが込められています。

校訓

山アリ 空アリ 大地アリ 永遠を知れ

「この校訓に解釈や注釈はいらない。生徒一人ひとりが自由に解釈すれば良い。」との思いで、北海道札幌開成高等学校の初代校長坂井一郎先生が定めた校訓で、「自分が自分をつくり上げ真理を見つけていく、その自分が次の人々を育てていく」という願いが込められています。

校歌

校歌

作詞 谷川俊太郎
作曲 穴戸睦郎

一、
山あり空あり大地あり
無限の問いに答えつつ
今日をいかに生くべきか
心々に理想は高く
我等ともに学ぶ開成札幌

二、
街あり国あり世界あり
歴史の教えたずねつつ
明日をいかに生くべきか
いつかはばたくその日を願ひ
我等ともに育つ開成札幌

三、
海あり風あり我等あり
若さの悩み抱きつつ
我等いかに生くべきか
時に孤独に吹雪に向かい
今日もともに愛す開成札幌

校歌誕生の 経緯

北海道札幌開成高等学校の校歌は昭和39年12月5日に作詞谷川俊太郎氏と作曲穴戸睦郎氏によって制定され、制定以来、開成高校生の誇りとして、声高らかに長く歌い継がれてきました。
平成24年度に開催された開成高校50周年記念式

典において、作詞家の谷川俊太郎氏から、中等教育学校への改編に当たり、「開成高校」を「開成札幌」へ修正する案が提案され、平成26年4月、市立札幌開成中等教育学校の設置を機に、開成高校の伝統を引き継ぐという思いから、これを本校の校歌としました。



アクセス

〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1

- 地下鉄東豊線元町駅下車、徒歩約15分
- 地下鉄南北線北24条駅から中央バス元町線（東70）乗車、北24条東21丁目停留所下車、徒歩3分
- 地下鉄東豊線環状通東駅から中央バス丘珠線（東61）/北札幌線（東79）乗車、開成中等教育学校停留所下車、徒歩1分



市立札幌開成中等教育学校

〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987（代表） FAX 011-781-5629

ホームページアドレス <https://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp>